



Cisco Unity Express 機能のロードマップ

『*Cisco Unity Express GUI Administrator Guide for CallManager Express*』では、Cisco Unity Express ボイスメールアプリケーションおよび自動受付アプリケーションを設定、管理、補充するための一連のグラフィカルインターフェイス画面を紹介しています。

それと同等のコマンド言語インターフェイスのコマンドについては、『*Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for CallManager Express*』で説明されています。

このマニュアルでは、Cisco Unity Express アプリケーションに焦点を当てています。ここでは、Cisco ルータ、Cisco ネットワーク モジュール、または Cisco CallManager Express ルータのインストールについては説明していません。それらのトピックの詳細については、[P.20](#)の「[その他のリファレンス](#)」を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージ \(P.2\)](#)
- [Cisco Unity Express 機能のリスト \(P.2\)](#)

プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージ

Cisco Unity Express アプリケーションは、Cisco IOS ソフトウェア コマンドと構造の似た一連のコマンドを使用します。ただし、Cisco Unity Express コマンドは、Cisco IOS 設定には影響しません。

Cisco Unity Express ハードウェア モジュールおよびプラットフォームは、操作に Cisco IOS コマンドライン インターフェイス (CLI) のコマンドを使用します。

Cisco Unity Express ハードウェアおよびソフトウェアのプラットフォームの詳細については、『[Release Notes for Cisco Unity Express Release 2.1.1](#)』を参照してください。



(注) Cisco Unity Express モジュールを格納するルータに無停電電源 (UPS) を接続することを強くお勧めします。信頼できる任意の UPS 装置により、ルータおよび Cisco Unity Express モジュールの動作を維持するための電力が途切れずに済みます。電力消費は Cisco プラットフォームによって異なるので、装置の容量と実行時間を考慮に入れてください。Cisco Unity Express をシャットダウンするようルータに指示してからルータの電源を切るシグナリング メカニズムを UPS に組み込むことをお勧めします。

Cisco Unity Express 機能のリスト

表 1 に、Cisco Unity Express の機能をリリース別に示します。特定のリリースで導入された機能は、そのリリースおよびそれ以降のリリースで使用できます。

表 1 リリース別の Cisco Unity Express 機能

| リリース | 該当のリリースで導入された機能 ¹ | 機能の説明 | 機能のマニュアル |
|------|------------------------------|---|---|
| 2.1 | 同報リスト | 複数のユーザにメッセージを送信するため、ローカル ユーザとリモート ユーザのパブリック同報リストとプライベート同報リストを作成します。 | <ul style="list-style-type: none"> GUI から : P.54 の「Voice Mail メニュー」およびオンライン ヘルプを参照してください。 CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1』 |
| | ブロードキャストメッセージ | 特権を持つユーザがネットワーク上のすべてのユーザにメッセージを送信できます。 | <ul style="list-style-type: none"> GUI から : P.54 の「Voice Mail メニュー」およびオンライン ヘルプを参照してください。 CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1』 |
| | 休日と営業時間のスケジュール | 発信者にオプションの自動受付グリーティングが自動的に再生されるよう、休日と営業時間のスケジュールを作成します。 | <ul style="list-style-type: none"> GUI から : P.54 の「Voice Mail メニュー」およびオンライン ヘルプを参照してください。 CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1』 |

表 1 リリース別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

| リリース | 該当のリリースで導入された機能 ¹ | 機能の説明 | 機能のマニュアル |
|------|---|--|---|
| | パスワードと PIN のセキュリティ強化 | パスワードと Personal Identification Number (PIN) の最小長と有効期限を設定します。 | <ul style="list-style-type: none"> GUI から : P.56 の「Defaults メニュー」およびオンライン ヘルプを参照してください。 CLI から : message URL 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1』 |
| | 着信メッセージでの発信者 ID 情報のサポート | 新規着信ボイスメール メッセージに対しメッセージエンベロープの一部として発信者 ID 情報を再生することを許可します。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1 』 |
| | ローカルディレクトリへのリモート ユーザの追加 | 頻繁に電話がかかってくるリモート ユーザをローカルディレクトリに追加します。この操作により、ローカル ユーザは、名前によるダイヤルを使用してリモート ユーザにボイスメールメッセージを宛先指定したり、リモート ユーザアドレスの音声名による確認を受信したりできます。 | <ul style="list-style-type: none"> GUI から : P.53 の「Configure メニュー」およびオンライン ヘルプを参照してください。 CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1』 |
| | リモート ユーザからの vCard 情報に対するサポート | リモート ユーザからの vCard 情報でディレクトリ エントリを更新できるようにします。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1 』 |
| | シンプル自動受付スクリプト | シンプル aa_simple.aef スクリプトは、オプション、休日、営業時間のグリーティングの使用に使用できます。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1 』 |
| | 削除されないボイスメッセージ | 現在のボイス メッセージ取得セッションで削除されたボイスメール メッセージをユーザが復元できるようにします。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager, Release 2.1 』 |
| | 工場出荷時のデフォルト設定への復元 | 管理者がシステム全体を工場出荷時のデフォルト値に再設定できるようにします。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1 』 |
| | ポート密度の増加 | 512 MB の SDRAM を備えたネットワーク モジュールが、16 のボイス ポートをサポートするようになりました。300 MHz で動作する Advanced Integration Modules (AIM; 拡張統合モジュール) が、新規ルータ プラットフォームで 6 のポートをサポートするようになりました。 | P.15 の「ソフトウェア ライセンスとファクトリセットの制限」 |
| | General Delivery Mailbox (GDM; 共用メールボックス) の用途変更 | GDM は、個人用メールボックスとして用途を変更できます。この操作により、各ライセンス レベルの個人用メールボックスの容量が増えます。 | <ul style="list-style-type: none"> GUI から : P.54 の「Voice Mail メニュー」およびオンライン ヘルプを参照してください。 CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.1』 |
| 2.0 | 複数の言語をサポート | Telephone User Interface (TUI; 電話ユーザ インターフェイス) と自動受付プロンプトでは、ヨーロッパフランス語、ドイツ語、ヨーロッパスペイン語、アメリカ英語を使用できます。 | P.25 の「Initialization ウィザードに必要なコンフィギュレーション データ」 |

表 1 リリース別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

| リリース | 該当のリリースで導入された機能 ¹ | 機能の説明 | 機能のマニュアル |
|-------|--|--|--|
| | ソフトウェアアップグレードプロセスの合理化 | 修正されたアップグレードプロセスにより、インストールの時間が短くなりました。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.0 』 |
| | AIM 上の格納域の増加 | AIM フラッシュ格納域の容量が 512 MB から 1 GB に増え、14 時間のボイスメールメッセージ格納域をサポートするようになりました。 | P.15 の「ソフトウェアライセンスとファクトリセットの制限」 |
| | 異なるルータ上の Cisco Unity Express と Cisco CallManager Express ソフトウェアの格納 | あるルータにインストールされた Cisco Unity Express ソフトウェアが別のルータにインストールされた Cisco CallManager Express と通信します。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.0 』 |
| | 複数のサイト間のネットワークング | Voice Profile for Internet Mail version 2 (VPIMv2) は、ネットワーク化メッセージとブライントアドレスのために、Cisco Unity Express サイト間、および Cisco Unity Express と Non-Delivery Record (NDR) を備えた Cisco Unity との間のボイスメールメッセージの互換性をサポートします。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.0 』 |
| | Cisco CallManager Release 3.3(3)、3.3(4)、および 4.0(1) のサポート | コール制御およびユーザインポート機能进行处理するための、リモートシステム上の Cisco CallManager JTAPI バージョンの自動検出機能。 | — |
| 1.1.2 | NTP サーバコンフィギュレーションサポート | 新しいコマンドにより、NTP サーバのコンフィギュレーションが可能になりました。 | 『 Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.0 』 |
| 1.1 | 拡張統合モジュール (AIM) カード | AIM カードには、Intel Celeron 300 MHz プロセッサ、256 MB RAM、512 MB のコンパクトフラッシュメモリ、PCI インターフェイスによるネットワーク接続、パラレルインターフェイスによるバックツーバックイーサネットを使用した Cisco IOS ソフトウェアおよびコンソールへのアクセスが装備されています。外部インターフェイスやケーブルは必要ありません。 | 『 Installing Advanced Integration Modules in Cisco 2600 Series, Cisco 3600 Series, and Cisco 3700 Series Routers 』 |
| | Cisco Unity Express スクリプトエディタでのカスタム自動受付スクリプトの作成 | スクリプトエディタは、自動受付 (AA) への着信通話を処理するためのカスタムスクリプトを作成します。カスタムスクリプトをアクティブにすると、Cisco Unity Express に付属しているデフォルト自動受付スクリプトが非アクティブになります。デフォルトスクリプトを変更することはできません。ネットワークモジュール (NM) および AIM は最大 4 つのカスタム自動受付をサポートします。 | 『 Cisco Unity Express Script Editor Guide 』 |

表 1 リリース別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

| リリース | 該当のリリースで導入された機能 ¹ | 機能の説明 | 機能のマニュアル |
|------|--|--|---|
| | オプション自動受付グリーティングおよびプロンプト | 必要に応じてアップロードまたはダウンロードできるオプション AA グリーティングおよびプロンプトを録音します。これらのオプショングリーティングおよびプロンプトは、Cisco Unity Express に付属しているデフォルトグリーティングおよびプロンプトに追加されます。NM は、最大 50 の代オプションプロンプトをサポートします。AIM は、最大 25 のオプションプロンプトをサポートします。 | P.14 の「自動受付グリーティングまたはプロンプト ファイルの録音」 |
| | 電話ユーザ インターフェイス (TUI) から Greeting Management System (GMS; グリーティング管理システム) へのアクセス | TUI からオプション AA グリーティングおよびプロンプト録音用のグリーティング管理システム (GMS) へのアクセス。管理特権を持つユーザは GMS にアクセスできます。 | 『Cisco Unity Express Voice Mail System - Quick Start Guide』 |
| 1.0 | Linux ベースのソフトウェア | Cisco CallManager ルータに搭載されたモジュールカードにインストールされる Linux ベースのソフトウェア (サポートされるハードウェアプラットフォームとソフトウェアのプラットフォームについては、『Release Notes for Cisco Unity Express Release 2.1.1』を参照してください)。ソフトウェアには、オペレーティングシステム、アプリケーションソフトウェア、注文されたライセンスの情報が含まれています。 | — |
| | ネットワーク モジュールカード | Intel Low Power PIII 500 MHz プロセッサ、20 GB IDE ハードドライブ、バックツーバック イーサネットとコンソールを使用した Cisco IOS ソフトウェアへのアクセスを備えたネットワーク モジュールカード。外部インターフェイスやケーブルは必要ありません。 | 『Cisco Network Modules Hardware Installation Guide』の第 22 章 |
| | 注文可能なライセンス パッケージ | 注文可能な 4 つのライセンス パッケージ。ライセンスは、各ボイスメール システムごとに注文する必要があります。各ライセンスで使用できるシステムの容量については、P. 15 の表 2 および P. 16 の表 4 を参照してください。 | P.15 の「ソフトウェア ライセンスとファクトリセットの制限」 |
| | 予備のモジュール | プレインストールされたソフトウェアおよびライセンスを備えた予備のモジュール。より大きい容量へアップグレードするには、ライセンスを購入してライセンス ファイルをダウンロードする必要があります。 | P.15 の「ソフトウェア ライセンスとファクトリセットの制限」 |
| | ライセンスのアップグレードとダウングレード | あるライセンス サイズから別のライセンス サイズへアップグレードまたはダウングレードします。 | P.15 の「ソフトウェア ライセンスとファクトリセットの制限」 |
| | 2 つの管理インターフェイス | 2 つの管理インターフェイス (P.17 の「管理インターフェイス」を参照してください)。 | P.17 の「管理インターフェイス」 |

表 1 リリース別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

| リリース | 該当のリリースで導入された機能 ¹ | 機能の説明 | 機能のマニュアル |
|------|------------------------------------|--|--|
| | Cisco CallManager Express での統合 GUI | Cisco Unity Express と Cisco CME の両方に対して統合された管理 GUI。統合されたインターフェイスで、電話番号や内線番号など、いくつかの Cisco CME パラメータを設定できます。 | P.52 の「Cisco Unity Express のウィンドウとメニュー」 |
| | 複数のサイトのバルクプロビジョニング | Cisco Unity Express によって提供されない CLI スクリプトを使用した複数サイトのバルクプロビジョニング。システムは個別に管理されます。 | 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.0』 |
| | IP ネットワーク内の任意の場所でのシステムアクセス | システムは IP ネットワークのどの場所でもアクセスできます。Cisco Unity Express インストーラが TFTP を使用している場合は、インストーラを実行しているサイトが TFTP サーバの近くにある必要があります。その他の機能はすべて FTP を使用するため、サーバは IP ネットワークのどの場所にあってもよいことになります。 | 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.0』 |
| | 手動でのバックアップと復元 | 顧客ネットワーク内の任意の場所にある FTP サーバを使用した手動でのバックアップと復元。 | <ul style="list-style-type: none"> GUI から : P.55 の「Administration メニュー」およびオンラインヘルプを参照してください。 CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.0』 |
| | トラブルシューティング用のシステムレポートとログファイル | レポートは Cisco Unity Express GUI 画面から使用できます。トラブルシューティングのレポートとファイルはすべて Cisco Unity Express CLI コマンドを使用して入手できます。 | <ul style="list-style-type: none"> GUI から : P.56 の「Reports メニュー」およびオンラインヘルプを参照してください。 CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide for Cisco CallManager Express, Release 2.0』 |

1. 特定のリリースで導入された機能は、そのリリースおよびそれ以降のリリースで使用できます。